

2018 年度日本リトルシニア 関西連盟中国支部一年生新人大会



大会要綱

主 催	一般財団法人 日本リトルシニア中学硬式野球協会 関西連盟中国支部
協 賛	株式会社ハークスレイ（ほっかほっか亭中国各店舗）
期 日	平成 30 年 7 月 14 日（土）、15 日（日）
予 備 日	平成 30 年 7 月 16 日（月祝） ※会場未定
場 所	各チーム専用球場
競 技 方 法	関西連盟大会規定を採用する。（一部、大会特別規定を採用） 【予選】リーグ戦 【本戦】トーナメント戦
大 会 副 賞	なし
開 会 式	なし
閉 会 式	期：平成 30 年 7 月 15 日（日）：決勝戦終了後（16:00 予定） 於：未定
参加チーム	日本リトルシニア関西連盟 中国支部加盟リーグ（関西連盟西部ブロック 2 チーム）

抽 選 会	平成 30 年 6 月 10 日（日） 於：西区民文化センター会議室
参 加 費	大会規定額を納入（期日までに中国支部の口座に振込）
試 合 球	メーカー指定なし（シニアリーグ公認球）試合ごとに 4 球
審 判 員	● 予選リーグ戦：各チーム 4 名（各チームから 2 名ずつ派遣）※対戦表参照 ※上記審判員については、審判部が発行する審判カード所持者に限る。 ● 本戦トーナメント戦：本部員 2 名、各チーム 2 名（各チームから 1 名ずつ派遣）
審 判 弁 当	派遣人数分支給（予選：1 日 2 個まで 本戦：1 日 1 個まで）
参 加 要 件	1. 本大会に出場できる選手は、一年生選手のみとし、日本協会が発行する選手・指導者カード（仮カード含む）の所持者のみ、ベンチ入りを許可する。 2. 一年生が 1 名でもいるチームは、必ず参加すること。 3. 1 チームの最低人数編成は 9 名以上 25 名未満とし、最低人数に満たないチームは合同チームでの参加を認める。 4. 合同チームで出場する場合は、ユニフォームは各チームのものを使用し、背番号が重複しても構わない。（背番号は 25 番以上でも可） 5. 専用球場を保有するチームは、当該試合の有無に関わらず、本大会の試合会場として協力できること。 6. 本大会に参加するチームは、全ての試合においてスポンサー弁当（@600 円）を注文すること。（但し、一部球場を除く）

競技要項（大会特別規定）



- 1 ベンチは若番が一塁側。ロージンは後攻チーム、ボールボーイは両チーム2名とする。（ボールボーイは原則ベンチ入り選手とする。）
- 2 各チーム派遣の審判員が担当する試合順は支部取り決めどおりとし、審判位置については大会本部の指示に従うものとする。
- 3 各球場のグラウンドルールは、試合開始前に各会場の責任審判員により説明を行う。
- 4 試合は7回または2時間制とし、5回をもって試合成立とする。（5回までは2時間超えても試合を行う）なお、試合成立後の延長戦は行わず、即タイブレイク（最大3回：1アウト満塁）を行い、なお同点の場合は最終出場メンバー（18名）による抽選にて勝敗を決定する。
※第4項の詳細解は別紙を参照。
- 5 5回以降7点差および4回以降10点差をもってコールドゲームとする。
- 6 メンバー交換は前試合3回終了後、大会本部が指定する場所にて、事務局長・監督・選手が集合し、所定のメンバー表（5部）を提出し、担当審判員並びに本部役員立ち会いのもと、ベンチ入りメンバーを照合のうえ、先攻後攻を決定する。
- 7 試合前のシートノックは7分間とし、ノック時のボールボーイは必ずヘルメットを着用する。なお、天候によってはサイドノックに変更する場合もある。（原則、各補助員は登録選手に限る）
- 8 原則、試合前のアップはフィールド内を使用しないこと。但し、外野フィールドにおいてはアップシューズ着用に関し、アップやキャッチボールを認める。（ノックやトスバッティングは禁止）
- 9 次試合チームの先発バッテリー1組に関し、4回終了以降、ブルペンに入って投球練習を行うことが出来る。（但し、ブルペン入場は、試合進行を妨げないよう細心の注意を払うこと）
- 10 ブルペン捕手は、スタンディングの場合であっても必ず防具を着用（特にキャッチ面）し、捕手の安全を守る保護選手を1名帯同させること。（保護選手も必ずヘルメットを着用すること）

その他の注意事項

- 1 各チームは、会場到着後、速やかに大会運営本部が指定する受付手続きを行うこと。
- 2 各チームは、当日の試合が全て終了し、会場を退出する際は、大会運営本部が指定する退場手続きを行い、「次回指示書」を受け取ること。
- 3 審判員は第1試合の試合開始40分前までに待機し、第2試合以降は、前試合3回終了前までに必ず審判控室にて待機する。（審判服は支部指定）
- 4 各チームの放送係は、第1試合の試合開始40分前までに必ず名札を付けて待機しておくこと。
- 5 審判へのお茶出し及び次試合のメンバー交換を促すアナウンスは行わない。
- 6 試合成績表の記録者は、名札を付け予備球を持って記録室に入室のこと。
- 7 各チームの応援団はメガホンを叩いての応援を禁止する。（鳴り物応援禁止）